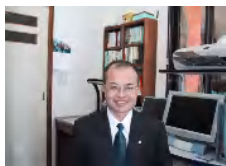


なべしま新聞



発行者 鍋島一博

初マラソン日記

ドン！という合図で飛び出す。人の波におされるように、走っていく。「スタートだ、もう後には退けない。前進あるのみだ！」仲間の一人が言う。「マラソンは人生と似ている。人間は生まれたからには生き抜かねばならない。後戻りはできない」ゴールは同じでも、ランナーは互いに抜きつ抜かれつ走る。

二時間ほど走った頃、ふと思う。「なぜ俺は走っているのだろうか？こんな苦しい思いをして―苦しいという気持ちは、脚が痛い、目がかすむ、といった部分的な問題ではない。身体全体の叫びなのだ。三十キロ地点を過ぎると、身体中の筋肉が細く引き裂いた竹で編み合わせたかのようにキシキシと音をたてる。何万人の大会であろうと、戦う相手は自分なのだ、己の心なのだ。」

三十八キロ地点。もう、歩いてもいいか、今この場で倒れてうつ伏してしまおうか、と負けそうになる。沿道の人々の声が聞こえる。「がんばれ！ゴールはすぐそこだ。」

今にもくずおれそうになる足腰が、この時ばかりはシャンとなる。疲れ切るほど応援者の気持ちは伝わって来る。人間は苦しさに耐え、必死になってあと一歩あと一歩と足を進めていると、周りが応援してくれるものだ。人に頼っている間は、誰も助けはくれない。足を引き摺りながら、なんとかフルマラソンを完走した。仲間に顔を会わせるとき、肩を組んで互いを叩きあう。よく走り終えた。仲間の顔が誇らしげに映る。汗が光っている。言葉には出さなくともお互いをいたわりあっていた。さっきまでの苦しさはどこへ行ったのだらうか。走っている間は、自分との戦いで精一杯だったのに、走り終えると清々しい。足の痛さも快く思う。

走ることで心になにか―が生まれた。そのなにかは、今も成長し続けている。



平成15年新春 第79回箱根駅伝

今年、箱根駅伝の復路、選手たちは舞い落ちる雪を切って走った。凍った足の危うさをモノともしなかった。箱根駅伝を走ることが夢だった彼らは、走り続け、苦しい練習に耐えて来た。しかし、実際にコースを走ることが出来るのは、一握りの選手だけである。私は、沿道で応援し、選手一人ひとりの光る汗を見るたびに、初めて市民マラソンに出場したことを思い出した。

◆ 上記の文章は、完走数日後、その時の気持ちを綴ったものです。

この数年来、私たち家族の新春恒例行事は、箱根駅伝観戦です。一月二日午前十時、小田原駅に着くと、私たちは神奈川県大学の旗を目指してまっしぐらに歩き始めます。その場所は、以前、東映や日活の映画館があった近くです。到着した頃、応援の人々はまばらにしかいませんが、通過時刻が近づくに連れ次々とやってきました。いつの間にか、沿道は着膨れした人々で埋まってしまうのです。午後〇時過ぎ、先導車に続いて先頭の選手が風のように走り抜けます。それからの数十分、沿道の応援は最高潮に達し、声援と旗を振る音が選手の通過と共に響くのです。すべての選手が通過した後、私たちは満たされた気持ちで帰路に着きます。選手たちが厳しい練習を耐え故障を防ぐ為には、それぞれトレーナーにマッサージを受けることが大切ではないでしょうか。

私は、左記の高野さん（トレーナー）をお願いしています。仕事や人生に疲れたとき、彼は、心と身体を癒してくれる名トレーナーです。



● はり・灸・マッサージ

高野治療院

(神奈川県鍼灸師会会員)

小田原市栄町 3-14-1

電話 0465-22-0165

訪問治療を行います。

すべて、ご予約制です。

なべしま新聞 発行者 鍋島一博

湯河原町中央区二一八―二六 郵便番号 二五九―〇三〇―

電話番号 0465―62―5367 ファクス62・5385

携帯電話 090―7633―2740

E-mail kaznabeshima@aol.com

【勤務先】 東京海上火災保険株式会社 小田原支社

【仕事内容】 ・お客様の人生設計に合わせた資産形成、夢の実現のお手伝い

・財産・身体の危険回避、不測の事態への備えとしてのプラン提案

・経営相談 ・ 財務・営業推進 ・ 人材教育 ・ 組織改革 ・ 安全運転教育

・総合リスクコンサルティング・e t c ・ お客様が疑問に思っていること、

お困りのこと、何でもご相談に乗っています。

どうぞ、お気軽に声をかけてください。

【取得資格】

・ シニアライフコンサルタント認定・損害保険代理店試験全種目Iコース

・ 損害サービスマスターコース資格

・ 損害代理店専門試験コンプライアンス（法令遵守）コース

・ 宅地建物取引主任者 ・ 銀行業務検定 財務2級・法務2級

・ 税務3級・全信協上級実務試験・証券外務員・全国空手道連盟二段

・ 中学校社会科教員免許状・珠算五級・自動車運転免許